
今日の方

2025年10月13日 ～ 10月19日

翻訳 藤岡 伸子

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

10月13日（月）

主に立ち返る

聖書朗読 ヨナ書 3:1～10

わたしの名を呼び求めているわたしの民がみずからへりくだり、祈りをささげ、わたしの顔を慕い求め、その悪い道から立ち返るなら、わたしが親しく天から聞いて、彼らの罪を赦し、彼らの地をいやそう。
歴代誌Ⅱ 7:14

神に近づく道は一つ。天国に行く道はただ一つ。イエス様は『わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。』（ヨハネ 14:6）と言われました。私たちは神様に従順に従い、神様の道を歩まなければなりません。必要であれば、神様のもとへ立ち返るためにUターンしなければなりません。ヨナはこの教訓を学ぶ必要がありました。彼は神様に従うのではなく、神様から逃げ出してしまいましたが、神様は彼をご自身に向かせようと、嵐を起こし大きな魚を備えられました。そしてヨナは立ち返ったのです。

船乗りたちは多くの神々に従っていましたが、彼らがヨナを舟から投げ出すと海が静まったのを見て、それまで信じていたものから神に立ち返り、真の神を礼拝するようになりました。

ニネベの人々は悪を行う者たちであったため、神様はこの町を滅ぼそうと計画され、ヨナは彼らに神のことばを宣べ伝えました。するとニネベの王は『ひたすら神にお願いし、おのおの悪の道と、暴虐な行いから立ち返れ。』（ヨナ 3:8）と布告を出しました。そして、彼らが悪の道から立ち返ったのをご覧になった神様は、彼らを滅ぼすことを思いとどまられました。

この物語に登場する者たちは皆、神様から離れるのではなく、神様に立ち返ることを選びました。神様は、悔い改めて悪から立ち返り、ご自身に従うすべての人を赦してください。あなたはどちらを選びますか。『救いは主のものです。』（ヨナ 2:9）

讃美歌 219 おのが道うちすて

祈り 父なる神様、私たちがいつもへりくだり、従順であり、自分の道を行くのではなく、あなた様に耳を傾け従うように備えさせてください。イエス様の御名によって祈ります。アーメン。

コロラド州 プエブロ ／ キャロル・ローズ

10月14日（火）

拡 がる 信 仰

聖書朗読 ハバクク書 3：17～19

私たちの主イエス・キリストの父なる神、慈愛の父、すべての慰めの神がほめたたえられますように。神は、どのような苦しみのときにも、私たちを慰めてくださいます。こうして、私たちも、自分自身が神から受ける慰めによって、どのような苦しみの中にいる人をも慰めることができるのです。

コリントⅡ 1：3～4

教会の録音ブースに座っていると、会衆全体を見渡すことができます。見渡す会衆の中には、私たちが避けたいと願う大変な経験をした人たちが大勢いますが、それでも彼らは信仰を持ち続けています。

彼らは自分たちがどれほど他の人の心を動かしているかという事に気付いていないかもしれませんが、そのような彼らの存在が他の人たちに、神様は忠実であり、自分たちも人生最悪のときでも神様への信仰を持ち続けることができるということを思い起こさせてくれます。

私たちは、自分が苦しみ悩んでいるときでも、誰かにとって力強い励ましになっているかもしれません。ある友人は、末期がんと診断されて初めて、自分の本当の信仰が分かったと言い、同じような境遇に直面した別の友人は、「神様はいつも忠実だった。それは今も変わらない。」と言っていました。このような証しは、私自身の信仰を深め強めてくれるものです。

ペテロⅠ 5：9は、世の兄弟姉妹たちが同じような苦しみに耐えているのだから、堅く信仰に立ちなさいと教えています。私たちは、私たちの救いのためにこの世に来られ苦しみを受けられた忠実な主を知っているのですから、共に信仰に立つのです。

讃美歌 265 世びとの友となりて

祈 り 父なる神様、あなたの忠実な愛によって、私たちを救ってくださったこと、そしてあなたと永遠に共にいることができるようになる喜ばしい日まで、この人生を生き抜けるように支え続けてくださることを感謝します。イエス様の御名によって。アーメン。

テキサス州 ラボック / レズリー・マッカロー

10月15日（水）

い ま 幸 せ で す か

聖書朗読 マタイの福音書 6：19～24

あなたがたは、神にも仕え、また富にも仕えるということはできません。

マタイ 6：24

宣教の地から戻ったとき、私が気づいたことのひとつは、トランクルーム（貸倉庫）事業が急成長していることでした。アメリカでは10世帯のうち1世帯がトランクルームを借りています。このような物は、物をあまり持っていない人たちよりも私たちを幸せにしているのでしょうか。

ホンジュラスのミッションスクールを手伝いに来た人たちは口々に「現地の人は皆とても幸せそう」と言います。そして、続けて「何も持っていないのにね。」と言います。確かにここには電気もトイレも水道もない家もあります。けれども、彼らは喜びに満たされていて、私たち訪問者は驚かされます。彼らは家族や友人と多くの時間を過ごし、深く強固な人間関係を築いています。彼らの豊かさは、物からではなく、人との関係から生まれているように思います。

今日の聖書箇所から、『あなたの宝のあるところに、あなたの心もある』ということをお願い起こさせられます。やがて錆びつき、天の目的には役立たない物を集めることに時間と資源を費やすことよりも、家族や友人とのより強固な関係を築くことを優先すべきです。日々過ごすうえで、財産を心配するよりも、主のもとでより強固な人間関係を築くために何ができるかに思いを集中させましょう。

讃美歌 335 すくいぬしのみこえをききて

祈 り 親愛なる神様、今日、私たちが家族、友人、同僚との関係を深めるために時間を費やし、他の人々の生き方の内にあなた様の愛を見ることができるようになってください。イエス様の御名によって。アーメン。



サウスカロライナ州 コロンビア / ブレンダ & マ

10月16日（木）

休ませてあげます

聖書朗読 マタイの福音書 11：25～30

すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。

マタイ 11：28

港湾労働者、ビル管理人、店員、国勢調査員、牧師—これらの職業は私がこれまでに携わってきた仕事のほんの一部です。この中には肉体的に疲れ切ってしまう仕事もありましたし、精神的に消耗してしまうものもありました。また、正直なところ、他の仕事に比べて、こちらの方が素晴らしいと思う仕事もありました。

マタイ 11：28でイエス様は、疲れた者、重荷を負っている者である私たちすべてに語りかけておられます。あなたがどんな重荷を負っていようと、イエス様は『わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。』と言ってくださいます。

私は、精神的調査を行って、人々がどのように困難を乗り越えているのかを尋ねてみたいと思います。特に、イエス様にある希望を持っていない人たちの答えに興味があります。彼らはどのように重荷を背負っているのでしょうか。

クリスチャンとして、私たちは楽な人生を約束されているわけではありません。けれども、私たちを助けてくださる救い主が重荷を負ってくださることが、私たちには約束されています。救い主は私たちに強くなることを求めておられるのではなく、心から喜んでご自身のもとへ行くことを求めておられます。

もし今日、あなたが肉体的にも精神的にも疲れ、打ちのめされているなら、休息が待っています。あなたの重荷をイエス様のもとにゆだねましょう。

讃美歌 291 主にまかせよ、汝が身を

祈り イエス様、休ませてあげようと招いてくださり感謝します。私たちがあなた様に重荷をゆだね、あなた様の力に信頼できるよう助けてください。疲れた者に平安を、重荷を負った者に希望を与えてください。あなた様の御名によって。アーメン。

テキサス州 アーヴィング / ブライアン・ヒューメック

10月17日（金）

心の癒しか律法の遵守か

聖書朗読 マタイの福音書 12：1～8

もし、あなたの中から、くびきを除き、うしろ指をさすことや、つまらないおしゃべりを除き、飢えた者に心を配り、悩む者の願いを満足させるなら、あなたの光は、やみの中に輝き上り、あなたの暗やみは、真昼のようになる。

イザヤ 58：9～10

安息日に関する律法はシナイ山で、神とイスラエルの民との間の契約として定められました。この日は、天地を創造されたのち神様が休まれたように、神に仕える者たちも休息する日となりました。神様は、ご自身の民が、ご自身のこと、ご自身との関係、そして他者との関係を思い起こすことを望まれました。

パリサイ派の人々は、神様が本来、人々の必要を満たすために与えられた掟を、重荷となるような律法にしていまいしました。イエス様のなされたことは想定外のものであり、律法に反するものでしたが、イエス様のお働きは人々の必要を満たすものでした。神様は、パリサイ派の人々の律法を遵守することよりも、むしろその心を求めておられたのです。彼らは、完璧であることを求めるあまり、完璧なお方である神様を見過ごしていたのです。

不変で揺るぎない真理がありますが、それは周りの人々の必要を満たし、天のお父様との関係を深めたいという、イエス様と同じ想いに基づくものです。私たちは、律法を厳格に守るよりも、人の心を癒すという、イエス様の模範に確信をもって従うことができます。

讃美歌 374 主イエスにならいて

祈り お父様、私たちがイエス様に目を向け、イエス様だけに従い、他の人々をイエス様のもとへ導くことができるようにしてください。救い主イエス様のお名前によって。アーメン。



テキサス州 ラボック / アニタ・プライス

10月18日（土）

いつも通りの一日？

聖書朗読 マタイの福音書 14：22～33

イエスは「来なさい」と言われた。そこで、ペテロは舟から出て、水の上を歩いてイエスのほうに行った。

イエス様と弟子たちは、日常的な移動手段として舟で湖を渡る必要がありましたが、イエス様ご自身は祈りの時を持つため、弟子たちを先に行かせられました。イエス様が行かれるところに、道は必要ありません。

弟子たちは、いわば“相乗り”のようなかたちで出発しました。彼らは「神様、私たちの行く道を祝福してください。」と祈ったかもしれません。もしかしたら同じ時に、イエス様も父なる神様と深く交わりながら、「神よ、あなたの道をお示してください。」と祈られたことでしょう。

湖を渡る日常の移動は、まもなく不安をもたらす嵐に遭遇しますが、イエス様は、船上であろうとなかろうと、そのような事態を収めることの出来るお方です。

弟子たちと同じように、私もいつものペースで、慣れた道を通り、与えられている賜物や才能、備えられた様々なものを用いて一日を始めると、神様が私を目的地に導かれ、駐車スペースを確保してくださっていることを当り前のことと捉えて、それ以上のことには思いが及びません。でも、イエス様のやり方は、日々の在り方を神様のご意志に委ねるというものでした。もし私がまず父なる神様に「みこころのままに」と従うなら、おそらくその後にかかることは、私の願いや想像を超えたものとなるでしょう。ただ「今日、あなた様のみこころが成されますように」と願うこと、これ以上の祈りと信仰があるでしょうか。

讃美歌 494 わが行くみち いついかに

祈り お父様、今日、私自身と私の歩みにおいて、みこころが行われますように。機会あるごとにあなた様のみこころを喜んで行うことができるようにしてください。私にそのような機会を見る目と、すべての良い機会はあなた様から来ることを知る恵みをお与えください。イエスの御名によって。アーメン。

カリフォルニア州 マリブ / ディヴィッド・レムリー

10月19日（日）

神様のこども

聖書朗読 マタイの福音書 18：1～10

自分のことだけではなく、他の人のことも顧みなさい。

ピリピ 2：4

最近、ウィリアムズ症候群*（*編注：遺伝子に含まれる常染色体の一部が欠けていることで生じる、様々な臓器の不調や合併症等を引き起こす、生まれつきの指定難病。1万～2万人に一人という割合で発症する。）についての特集を見ました。これは様々な医学的問題を抱える疾患ですが、このウィリアムズ症候群の子供たちは言語能力が極めて高く、音楽や社会的交流などの分野で才能を発揮しています。

このような子供たちはとても人懐っこく可愛らしいことが多く、彼らの両親にも周囲の人たちにも多くの喜びをもたらしてくれます。しかし、この特集の解説者は、このように喜びをもたらしてくれる特性が、ある者には付け入る隙を与えていると指摘しています。見知らぬ人と関わることを恐れないことを利用して、こうした特性を持つ子どもや大人を傷付ける人たちがいるということに、私は怒りを覚えました。

イエス様は、『わたしを信じるこの小さい者たち』のひとりにでもつまずきを与えるような者に強い言葉を投げかけておられます。子どもたちの霊的成長は、イエス様ご自身にとってとても大切なことです。イエス様は私たちに、もっとも弱い者に対して、支配したり批判したり、あるいは操ったりするのではなく、尊敬の念を持って接するようにと促しておられます。私たちはイエス様のように愛する努力をしているでしょうか。私たちの霊的成長は自己犠牲と他者を愛する姿勢によって測られるのです。

讃美歌 390 やさしく友をむかえよ

祈り 親愛なるお父様、私たちの周りで信仰に苦しんでいる人たちを、あなた様をご覧になると同じように、私たちも見ることができるようになりますように。私たちがあなた様の愛を心に受け、彼らに必要な真理と励ましと愛を与えることができますように。イエス様によって。アーメン。

テキサス州 ラボック / アニタ・プライス